

RICE BALL ライスボールセミナー SEMINAR

2019. **MAY**

日時

第2・3・4 火曜日 12:20-12:50

会場

創思館 1F カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付

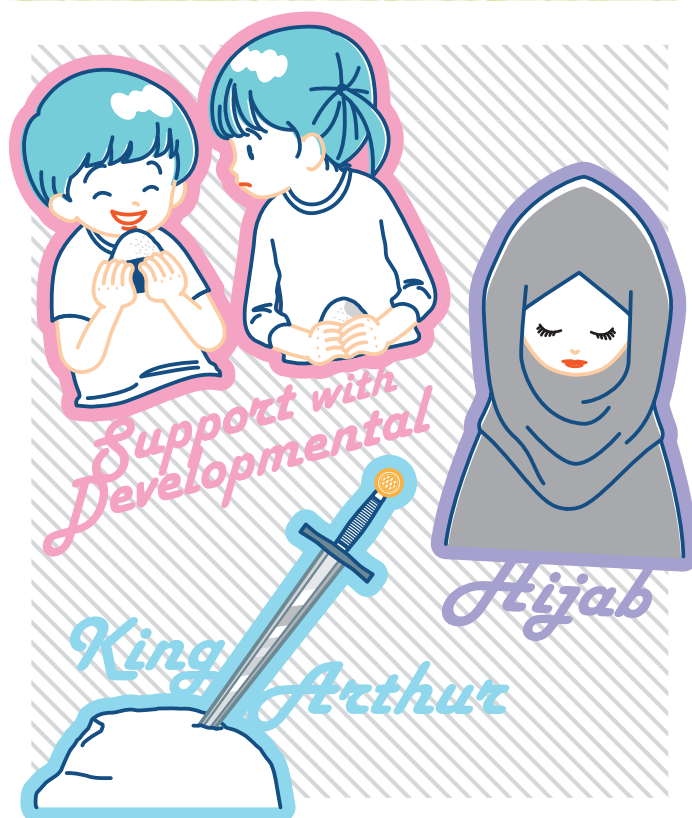
多数ご参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および
入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”

と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べ
ながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディス
カッションを楽しむセミナーです。

学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただいま
す。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてくだ
さい。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！



vol.1
5/14

アーサー王物語の受容と展開
——変容する中世騎士道物語

講師

文学部 准教授 岡本 広毅

vol.2
5/21

「食べられない」と「食べる」を通した
子どもの発達支援

講師

産業社会学部 准教授 田部 絢子

vol.3
5/28

本当はこわい(?)ムスリム女性のスカーフ論争

講師

国際関係学部 准教授 鳥山 純子

岡本 広毅 (文学部 准教授)

アーサー王物語の受容と展開 ―変容する中世騎士道物語



専門分野 中世イギリスの文学と言語

研究者の道に進んだきっかけ 一地方言語であった「英語」がグローバルに発展してきた経緯に興味を持ちました。そこから古い時代にかかれた英語文学の豊かさ、一語一語に拘りながらテキストを精読することの意義を感じるようになりました。また、こうした過去の作品が近代になって再発掘・再評価され、ナショナル・アイデンティティ形成と緊密にかかわっていく過程にも興奮を覚えます。

研究内容紹介 中世アーサー王物語における「ロマンス」と「歴史」の関係性、個々の騎士物語が地域的・国家的アイデンティティの形成に果たす役割を研究しています。特に円卓の騎士ガウェインの物語に刻印される歴史性など。中でも、14世紀末のイングランド書かれた『ガウェイン卿と緑の騎士』は様々なテーマを内包する奥深い作品です。冒険、恋愛、ロマンス、魔法、神秘、ファンタジー、RPG (Role-playing Game) etc ―中世文学の研究は、こうした胸躍る物語要素の源流をたどることでもあります。

田部 絢子 (産業社会学部 准教授)

「食べられない」と「食べる」を通した子どもの発達支援



専門分野 特別支援教育、発達障害児の教育・支援

研究者の道に進んだきっかけ 大学では栄養学を専攻し、卒業後は食品関連企業を経て私立中学・高校の家庭科教諭。ここで多様なニーズを有する生徒たちと出会うことになりました。大学時代に学んだままでは現代の子どもたちの抱える課題に伴走しきれないことを痛感する日々。教師という専門職に就いている限り、自分自身のアップデートは必須だと思い、教員を続けながら修士・博士課程に進学し、5年間はまさに寝る暇もないほどに勉学・研究に励み、その理論・知識を日々の教育実践と融合しました。さらに、子ども・当事者の声(想い)を大切に特別支援教育を実践できる教師を養成したいとの想いもあり、学校を退職して大学・研究者の道に進みました。

研究内容紹介 発達障害者は、「どうしても受け付けない食べ物がある」「なんでも丸飲み」「会話をしながらの食事はつらい」等を訴えることがあります。食物・食環境に関する過敏性や偏食、異食、肥満、アレルギーや咀嚼・嚥下等に困難・課題を有すると、日々の食事を提供する保護者にとっても、子育ての不安・ストレスの大きな要因となります。「通常」とは異なる「身体感覚」の問題は、想像しにくいゆえに誤解されやすく、「わがまま」「甘やかし」と思われがちです。外からの本人観察と本人の内面世界との不整合が起きているとも考えられます。本人・当事者のニーズと周囲の理解・支援のパートナーリズムをなくすためには、本人・当事者の声や願いを丁寧に傾聴することが肝要なのです。

鳥山 純子 (国際関係学部 准教授)

本当はこわい(?) ムスリム女性のスカーフ論争



専門分野 ジェンダー学・文化人類学(中東)

研究者の道に進んだきっかけ 学生の時、エキゾチックな雰囲気惹かれ訪れた中東は、全く理解不能の場所でした。異常なほど高い自己肯定感、西洋への反発、結婚至上主義。こうした「意味不明」に惹かれ、きづけば現地の大家族の嫁となっていました。中東での生活は今でも驚きに溢れ、発見があるごとに自分の偏狭さを思い知らされますが、人間の「幸せ」についても多くを学んでいます。

研究内容紹介 中東やイスラーム教のイメージとして用いられる「女性のスカーフ姿」。しかし普段何気なく目にするこうした他者イメージには、政治的意味合いが含まれているものも少なくありません。本発表では、ジェンダー学の考え方を手掛かりに、そこにどのような危険性があるのか、どういった格差の埋め込みが行われているのかを考えます。



[会場] 立命館大学衣笠キャンパス 創思館1階 カンファレンスルーム

[日時] 第2・3・4火曜日 12:20-12:50

[共催] 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)

[お問合せ] 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナー、FacebookページもCHECK!
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

